

第5回 名護市総合交通ターミナル検討部会 議事録

1. 開催日時：令和7年10月30日（木）14：00～15：30

2. 場 所：名護市産業支援センター及びWeb

3. 出席者：○委員

神谷 大介	琉球大学工学部 教授【部会長】
林 優子	名桜大学 副学長
前田 裕子	名護市観光協会 理事長
高江洲 誠	一般社団法人沖縄県バス協会 常務理事兼事務局長（Web）
小川 吾吉	株式会社琉球バス交通 代表取締役
小橋川 共隆	那覇バス株式会社（代理出席）
新川 幹雄	沖縄バス株式会社 代表取締役
比嘉 良尚	東陽バス株式会社 運輸部 部長
谷田貝 哲	合同会社やんばる急行バス
宮城 敦	株式会社北部観光バス 常務取締役
比嘉 悟	第一マリンサービス株式会社（代理出席）
花城 満	沖縄県警察本部 交通部（代理出席）（Web）
亀谷 匡哉	沖縄総合事務局 運輸部 企画室長
岡本 雅之	沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
屋我 直樹	沖縄総合事務局 北部国道事務所長
伊藝 誠一郎	沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課長
久場 兼治	沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課長
湧川 治	沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課（代理出席）（Web）
大山 豪	沖縄県 北部土木事務所 技術総括
仲吉 朝尚	沖縄県 企画部 交通政策課 公共交通推進室長（Web）
大城 厚司	沖縄県 北部農林水産振興センター 農業水産整備課長
岸本 啓史	名護市 建設部長

○事務局

名護市建設部まちなか再開発・公共交通課

内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所調査課

4. 議事要旨：

委員：【VR映像について】現時点の名護バスタのイメージを理解するうえで十分。検討部会を通して各委員からご意見をいただき、よりよいバスタの検討を進めてほしい。品川のバスタプロジェクトでは、建築家にも関わってもらい、デザインがとても良くなった。名護バスタにおいてもまちづくりが中心となって、アーバンデザインセンター等で検討してほしい。

【整備方針（案）について】防災機能はもっと具体的な検討が必要。他事例であるが、プッシュ型支援として物流業者が物資運搬に寄与していることもある。民間の支援の視点も検討してほしい。交流等機能については、どのような施設となるのか、もう少し具体的に示してほしい。ビジターセンターなどが考えられるが、他のビジターセンターも参考に検討してほしい。

【まちづくりについて】回遊性を高めるための仕掛けづくりが必要であり、まちづくりでの議論が必要。その一方で、バスタは名護市だけでなく、「や

んばる」のゲートウェイとしての整備を進めてほしい。辺戸岬や国頭の森の中の道も静かで魅力的だと感じている。やんばるをブランディング化するなど、北部地域に来たという実感が得られるような場所にできれば素晴らしい。維持管理についても今後検討が必要だが、清掃や除草など比較的簡単な維持作業は地域の方に協力をいただくなどすれば愛着をもっていただけるのではないかと考える。

委員：高速船の券売所も併設される形で検討が進んでいるということで、引き続き検討を進めていただきたい。

委員：整備方針（案）に「北部地域全体の交通拠点」という文言があるが、北部地域の路線は利用者の減少に伴い減便・廃線が生じている状況でもあるため、いかにバス利用者を増やしていくかという点についても周辺自治体を交えて協議いただきたい。

事務局：「やんばるの玄関口」を掲げていることから、周辺自治体のご意見、ご要望を踏まえながら検討する。

事務局：北部12市町村のつながりに関しては北部地域の公共交通協議会等でも議論をしているところであり、こちらとも連携を図りたい。

委員：イメージ図において、国道58号沿いの高速バスの停留所に屋根が無いように見受けられる。利用者が雨に濡れないことが重要であり、海側の乗降場所も含めて十分な規模の屋根を整備してほしい。バスを乗り継ぐ際の動線も意識いただきたい。整備方針（案）に「広域移動にかかる高速バスの速達性確保」という表現があるが、どのようにして実現することを想定しているのか教えてほしい。加えて、ウォーカブルの視点について言及がないが、検討状況を確認したい。

事務局：屋根の設置については高速バスの停留所を含めて検討したい。高速バスの速達性については、小禄道路の整備など沖縄本島全体の道路ネットワーク整備と合わせて向上を目指すものと考えている。今回の映像の中では主で表現していないが、ウォーカブルに関しても名護市中心市街地まちづくり推進協議会の議論も踏まえ、反映していきたい。

委員：速達性確保は、バスタ単独で実現するものではないと理解した。チケット等、運賃収受に関わる運用を工夫するだけでも遅延防止につながることから、こうした点も含めて検討いただきたい。

委員：VRで将来イメージがよく理解できた。エレベーターについて市街地側では表現されていたが、漁港側にも設置されるのか確認したい。またロータリー形状について、流入・流出部を余裕を持った線形に変更したということであるが、実際に走行してみると線形がきついというケースもあり得るため、那覇バスターミナルの計画時に行ったようなテスト走行を事前に実施いただきたい。

事務局：バリアフリー対応のためエレベーターは設置したい。那覇バスターミナルではロータリー形状を実験的に再現して試走をしたと聞いているが、名護バスタについても今後検討させていただきたい。

委員：50年ほど前は名護十字路付近にバスターミナルがあったが、周辺への渋滞影響を踏まえ、広い敷地を確保するため現在の位置に移転した経緯がある。近年はバスの本数が減少しており、現在の名護バスターミナルを今後どう管理していくかという点は目下の課題ととらえている。総合交通ターミナルは、

バス以外にタクシーやレンタカーも入ることが想定されていることから、どのような管理方法になるのか検討いただきたい。あわせて給油所等も含め、現在の名護バスターミナルを今後どう活用するか、人の流れが変わることも踏まえて、関係者と議論して考えていきたい。

委員：北部地域は赤字路線が多く、交通結節点の整備により利便性が高まり利用者が増えることを期待したい。乗り換え等の案内の面も、運営方法を含めて丁寧に検討いただきたい。

委員：高速船との結節という特徴・イメージを、交流施設等に反映していく必要があると考える。また7月にジャングリアがオープンしたが、名護漁港や名護市役所前で高速バスなどのお客さんを拾い上げる形で送迎バスがうまく運行されており、バスタでもこうした機能を確保する必要がある。高速バスの速達性確保に加えて、デジタルサイネージ等での案内を充実することで本部半島線や辺土名線などの既存路線の利用増進につなげることも重要と考える。また名護市内ではOKICAのチャージ機が少ないことから、交流施設やチケット売り場にチャージ機を設置いただくこともお願いしたい。近鉄四日市駅バスターミナル整備において、交通事業者が管理主体に入っているかどうか教えていただきたい。また名護同様に沿岸部でのバスタプロジェクトが検討されている長崎についても動向があれば伺いたい。

事務局：デジタルサイネージやチャージ機などの設備面については、今後の議論事項と認識している。近鉄四日市は、グループ会社を含め関係する交通事業者が関わる形で管理運営されている形となっている。長崎については情報を持ち合わせていない。

委員：VRで具体的なイメージについて分かりやすくなったと感じる。利用者の動線については、乗る人、降りる人、乗り換える人がスムーズに移動できるように丁寧に検討いただきたい。特に歩行者デッキからチケット売り場への動線は確実に検討いただきたい。名護市の交流等機能に含まれる施設についても、降りる人、使う人の視点で引き続き検討いただきたい。今後若者の車離れが進むことも踏まえ、やんばる全体の自由な移動を支えるという視点でも検討いただきたい。またデザイン性も重要な要素であり、以前から申し上げている“名護タワー”を含め、名護に着いたという実感が持てるようなシンボリックなデザインを検討いただきたい。

事務局：歩行者動線は今後、関係者の意見も伺いながら描いていきたい。交流施設やデッキの必要規模、役割分担については、まちづくりとも密接に関係することから、名護市との協議を踏まえて今後整理する。高速バスで名護に来た方が、北部地域全体でどのように回遊するのかという点も今後検討したい。デザイン面についても今後関係者で議論して進めていきたい。

委員：「臨海部のバスタ」という点を踏まえて、名護湾の眺望や名護らしさを生かしたデザインを検討いただきたい。

委員：高速バス停留所とバースの間に自転車道があり分断されている印象である。ロータリーの出入口についても、自転車の交差が生じるため、安全対策を検討いただきたい。

事務局：自転車道については、警察とも協議を進めながら今後安全対策を提示したい。

委員：北部地域のネットワークについては、市町村やバス事業者を含めて検討を進

めている。総合交通ターミナルの完成時までには何をすべきかを念頭に検討を進めたい。

委員：まちづくりについても同時進行で検討しており、議論を重ねているところである。バスタとまちづくりについて一体的に進めるべく、令和8年9月頃の都市計画決定を目指して関係団体と協議をしている状況である。

委員：国道や交通ターミナルが漁港施設内に大きく食い込むことになることから、漁港用地関係の調整を今後お願いしたい。海上保安庁の防災ステーションや共同組合事務所の移設等に関する調整についてもお願いしたい。

委員：名護市が計画するウォークブルの実現に向けては地域の合意形成が重要と考えている。植栽などについては維持管理面も含め検討いただきたい。

委員：整備方針の公表スケジュールを教えてほしい。

事務局：整備方針については、名護市中心市街地まちづくり推進協議会でも審議・合意ののち、公表となる予定である。

委員：自転車の通行空間の入れ方は今後設計段階において、バス事業者様とも議論していきたい。

委員：本学は中心市街地から離れていることもあり、特に日中は学生がまちなかに行くことは少なく、また車利用が前提になってしまう。電動自転車等の小さいモビリティを含め、まちなかを小さく動けるようにすることと、バスタの大きな動きが連携していけるとよい。学生も巻き込んでいただきながらまちづくりを検討いただきたい。

委員：学生も関わりやすくするために、どういったことが名護市や沖縄総合事務局でできるか、アイデアがあれば名桜大学からもご指摘いただきたい。観光協会からも、若手の方も含めて何かチャレンジするための場づくりのようなアイデアがあればご意見いただきたい。ターミナル施設については、移動動線に加えて屋内での待合空間をどこに配置するか、チケット売り場も含めて検討いただきたい。将来的に連節バスが発着することも念頭に置いていただきたい。

以 上